

会議録

会議名	第 5 回愛荘町公共施設マネジメント推進委員会
開催日時	令和 7 年 8 月 19 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 0 0 分
開催場所	愛荘町役場 3 階 第 4 会議室
出席者	【委員】 7 人 西田委員（京都大学経営管理大学院 特命教授）、持田委員（立命館大学理工学部 教授）、西川委員（企画政策監）、生駒委員（総務政策監）、木村委員（福祉政策監）、北川委員（産業政策監）、陌間委員（教育次長） 【事務局】 2 人 公共施設最適配置推進室 久保川室長、南部主任
欠席者	0 人
公開・非公開の別	公開
議題	前回の振り返り 報告事項：二次評価結果について ・評価内容の確認 報告事項：所管課ヒアリングの結果について ・個別施設計画と現状の比較 ・優先的に検討を進める施設について 審議事項：施設の具体的な取り組みについて ・施設位置の確認 ・社会体育施設・学校体育施設の利用状況 ・指定避難所について
傍聴者の数	4 人
審議内容	別紙のとおり
問い合わせ先	所属名 ：経営戦略課公共施設最適配置推進室 電話番号 ：0749-42-7680 メールアドレス ：keiei@town.aisho.lg.jp

(1) 事務局あいさつ

(事務局) これまでの委員会では、町が保有する公共施設について、委員の皆様からご意見を頂戴しながら、評価の手順や評価項目、また評価基準を定め進めてきました。本日は二次評価の結果を踏まえ、いよいよ施設の具体的な取り組みについて協議を始めていくことになります。委員の皆様にはそれぞれの立場からご意見をいただき、最終的には委員会としての意見としてまとめていきたいと考えていますのでよろしくお願いします。

(2) 委員長あいさつ

(西田委員) ただいま事務局の方からご報告ありました通り、本日第5回ということで、各施設の具体的な方向性について議論を進めていくということになりました。資料の方にもありますように事前にいろんなヒアリング等していただいた結果も本日はご報告をいただけるということですが、これに基づきまして、今後の各施設へどのような方向性を持って対応していくかということについて本日は議論よろしくお願ひしたいと思います。

(3) 前回の振り返り

(事務局より説明)

(4) 報告事項：二次評価結果について

(事務局より説明)

(5) 報告事項：所管課ヒアリングの結果について

(事務局より説明)

(持田委員) 以前からお話されている内容ですが、町として各年度に例えば過去5年間とか、将来2、30年にわたって各施設を維持管理していく中でどれだけの費用が生じるのか簡単な棒グラフのように各年度の金額を表すものがあるとわかりやすいかと思います。

解体費と簡単に言ってもすごくお金がかかるため、ある年度に集中してしまうと解体ができないような状況になりますが、そのような調整はもうできているのですか。ここで評価されている内容というのは、町としての費用面の計画に合っているものなのでしょうか。

(事務局) 解体の時期について支出が重なるかどうか、具体的な年度が書いてないところは調整ができていません。具体的に書いているところもまだ予算査定等が行われてないのではっきり決まっていると申し上げられませんが、実施に向けて調整していきたいと考えています。

(持田委員) 年度が書いてあるものは、一応予算措置みたいなものはされていて、何とかやりくりできるということなのでしょうか。その検討までされているのか、費用面がその計画に合ったものになってくるかどうか知りたかったのですが。

(事務局) まだ確定しているものではなく、施設以外の町全体の財政との兼ね合いもありますのでこれから調整していくというところになります。

(持田委員) そのような調整をするときに、今評価しているものを原案として、何も対応しない場合の各年度の維持管理の費用が、長寿命化等対応することによって各年度で費用が減ってきたり、あるところでは解体費が集中するような状態とかあったりすると思うんですけども、そういう各年度の費用が少し具体的にわかるような資料は作れないのでしょうか。

(事務局) 総合管理計画を立てる際には、毎回コンサルタントの方に入っていただき、施設ごとの推計を出して平準化するようにしているため、そのタイミングでは確実に出せるかと思います。

(持田委員) それはコンサルに頼まないとできませんか。

(事務局) 総務省の推計ソフトを使用するため同じ条件で計算すれば可能ですが、それが正しい確信を持ってできないので、あくまで事務局案という形のものを作成できると考えます。

(持田委員) 比較をする上で物を解体したら解体費がその年度は増えて、次から維持管理費がなくなるとか、そういうものがトータル的に対比の中で見えるようになるとうごくわかりやすいかと思います。それが合っているか間違っているかといえばおかしいところも多少出てくるとはと思いますが、対比を行うことによって、今回の取り組みで、維持管理に対する改善が必要であったり、効果があったりということがわかりやすくなるかと思いました。

(事務局) 今後方針を検討していく中で資料を用意させていただけたらと思います。

(持田委員) あまり正確なものを作ろうとすると費用がかかってしまいますし、概略の方針を決めようと思っているわけなので、明らかに不必要なものだけは除外して

いくような形の最初の取り組みを行うことが目的でそういうものを作るということは大事なかなと思っています。第三者が見たときに、今の評価項目だけだと、全体に対して「これは本当に大丈夫なのかな」と不安に感じる方もいるのかと思うので、そういうものがあるとすごく安心感や信頼感がありますよね。無駄なことがなくなっているというのを示せる資料になるかと思いました。

(西田委員) この解体となっている施設の中で、具体的に年度が決まって準備段階に入っているものと、解体という方向は書いているけれども、実際は今まだ使っている施設が結構あるんですよ。それを解体後どうするのか、移転するのか集約化するのか、それとも解体してその機能は他で充填しないのか。この方向を決めないとおそらく解体時期を入れることができない施設がいくつかあると思います。

特に武道館・体育館については、愛荘町さんの歴史上の問題だと思いますけれども、旧2町の動向によって町内に二つずつ同じような機能のものがあると。しかもかなり老朽化をしていて、このまま置いておいたら危険かもしれないと思われるような、特に愛知川の方の体育館などは早急に方向性を決めて、解体するなら解体する、そのときはその機能をどうするのかというふうな議論を早めにして、方向性を決めていく必要があるかと思います。

持田先生、今のご質問ですが、もう方向が決まっているものはスケジュールあるいは解体費について、概算でも入れられるものは事務局の方で入れていただいたらいいと思いますが、時期を割っていくというのは、おそらく今日の議論を受けてどのような方向に持っていくかということを決めてからという気がしますが、そのような方向性で議論を進めていくということでしょうか。

(持田委員) はい、いいです。

(6) 審議事項：施設の具体的な取り組みについて

(西田委員) 事務局の方からもご提案がありましたけれども、施設を全部まとめて今日議論するとなると大変なので、武道館・体育館・スポーツ系の施設を中心に本日は議論したいということですが、その方向で委員会の方を進めさせていただいてよろしいですか。

事務局の方からもう一度、この方向で議論をしていくときに、対象となる施設あるいはヒアリングの中で出てきた内容について簡単にご紹介いただいていいですか。

(事務局) はい。対象となりますのが、愛知川武道館、秦荘体育館、愛知川体育館、あとは秦荘体育館と同じ敷地に秦荘武道館があります。現在、旧秦荘地区に体育館と武道館が一つずつ、旧愛知川にも体育館と武道館が一つずつある状況です。その中で、特に愛知川の体育館と武道館については、床の傷みや雨漏り等あり、数年のうちに対応が必要となる見込みです。

個別施設計画では当初、愛知川武道館と愛知川体育館の機能を秦荘スポーツセンターに移して、この二つの施設は解体しようという計画になっていました。今一度考え直す機会でもありますので、どういった形が最善か、この委員会で検討していきたいと考えているところです。

(西田委員) はい。ありがとうございます。現状、愛知川の方と秦荘の方にそれぞれ別々に体育館と武道館があると。特に老朽化が進んでいるのは愛知川のほうの施設で、おそらく現地を見る限りでは一度解体をして、その機能をどこかに持っていか、あるいは再建するかという議論をする時期になっていると理解していますがよろしいですか。

これを考えるときにもう一つ、愛知川はすぐそばに公民館があって、この公民館についても先ほどのご報告の通り、予定は遅れているけれども解体をするということで、隣接したところに結構大きな敷地を保有されているといったことも頭に置きながら、これらの施設の方向性を議論していくということになるかと思います。

(陌間委員) 個別施設計画においては、当初は除却して秦荘スポーツセンターに集約をしていくというような話になっていましたが、今年度は国スポ・障スポもあり、競技に出ていただく方や下支えしていただく方々の育成として、施設を現状維持しようということで現在まで来ており、それ以降の方針が特に決まってないというような状況です。

所管課の意見にありますように、可能であれば全て残すというのが、今活動していただいている方々の活動場所であったり、町民の方の健康増進であったりとか、いろんなことを考えるとベストなのだろうとは思いますが、財源のことを考えるとそれは難しいということは共通認識しているところです。

例えばスポーツ少年団の方々に学校体育施設の活用についてお話を聞かせていただいている中で、学校体育施設は生徒の数に応じた整備をしているというようなところがあり、例えばバレーやバスケットではゴールから後ろにもある程度スペースが必要等のルールがあり、規模的に全ての団体がそちらへ移るというのは難しいというご意見も伺っています。また、武道場についても中学校の武道場を昨年度の途中から開放していますが、なかなかそちらに全てご利用いただいた団体が移ることは難しかったということもあり、社会体育施

設を整備していく中でどうしたものかと担当課とも議論していました。

使っていただいている団体さんにもいろいろとお話を聞かせていただいているのですが、大きなものが欲しいとお話をさせていただく団体さんもおられますし、現状のところを違う形になってもいいから使いたいというご意見もございまして、なかなか判断が難しいところがありますが、やはり財政的な部分を考えながら、どれが一番良いかというのを悩んでしまうところがあります。

(西田委員) 既に施設が二つずつ両地域にあって、利用者の方も一定数いらっしゃる中で、現状そのまま維持できれば一番いいだろうというのはもうその通りだと思います。元々この委員会の方向性が将来に向けて町の財政を考えていくと、一定の施設については整備統廃合を含めて考える必要があるということになっているので、今のようなお悩みは結果としてその通りだと思います。

(木村委員) 今ほど事務局の方から、最初の個別施設計画では愛知川の体育館と武道館を除却して、秦荘のスポーツセンターの方に移行してしまうというような意見でしたよね。要は体育館二つを一つに武道館二つを一つにするというところですが、それを秦荘スポーツセンターにだけ持っていくというのもどうかと思うので、例えばですけれども、武道館的な体育館を愛知川方面に一つ、体育館を主とする武道館的なものを秦荘方面に一つといった位置を考えるということとをこの場で検討させてもらっていいものなののでしょうか。

(事務局) はい、場所の検討も含めてこの委員会で検討させていただきたいと思いますので、ご意見いただけましたら幸いです。

(北川委員) 現状も住民の方や中学校が使用されている中で、やはり新しいものを建てたり改修したりということになると、一旦そこが使えなくなるというところがあるので、例えば、住民の方に迷惑がかからないよう現状の体育館等は置いておきながら、愛知川公民館除却後の跡地というのはひとつ候補になってくるかと思います。新たな更地となると選定するのも非常に時間がかかりますので、今あるところの中でということであれば、公民館の解体はこれから進めていく上で何かヒントになっていくと思っています。

(西川委員) 町内の学校の体育館がどれだけ一般開放されているのかという実態は非常に重要かと思いますが、そこら辺はどうですか。

(事務局) 資料 4-2 が社会体育施設と学校体育施設の利用状況でして、この資料では大まかに、午前・午後・夜間と 3 つのブロックに分け、どの曜日にどこが使われているか出させていただいていますので、参考にしていただければと思います。

(西川委員) あともう一点、資料 4-3 の避難所の関係についてなんですけれども、今現在愛荘町の地域防災計画で指定避難所として指定しているところ、また、避難所の収容人数が各施設の下段に書いていますが、公民館や愛の郷の施設の統廃合という状況において、この避難者をどこに避難させるのかというところから考えると、やはり体育館・武道館というのも一つの避難所として検討する必要があると考えています。そういったことのバランスも含めて、施設をどうするか考える必要があるかと思います。

(生駒委員) 秦荘地区、愛知川地区それぞれ二つずつある体育館・武道館をそのまま維持しておくことは、住民サービスを考える上では一つの方法かもしれませんが、やはり人口減少や財政面のことを考えますと、先ほど木村政策監が言われたように、体育館、武道館、それぞれ集約をさせていただいて、一つにしていくというのは大原則であると考えているところです。

場所については利用団体や実際利用されている方のご意見等もあり簡単には進まない話だと思いますが、スポーツセンターはグラウンドも含めて、アーチェリー競技で多額の投資をさせていただいているので、そこに建て替えるというのも一つの方法かと思っています。また、秦荘の体育館は長寿命化の可能性もあると認識をしていますので、それも一つの方法かなというふうに思っているところです。

(木村委員) 西川政策監がおっしゃっていたように、仮に新たに作るのであれば、避難施設としての機能も絶対に有するべきだと思いますので、そうすると、やはり冷暖房を完備したもので、しっかりスポーツの施設としても使えるけれども、防災的な機能をしっかり持つものが良いかと思っているのと、おそらく愛知中学校武道館は、今貸し出しされているのもエアコンが効くという利点があると聞いているので、そういったことも考えた上で、次のステップ、同じものを同じように、二つを一つにするだけではなく、プラスアルファより良いものにしてはどうかと考えます。

(西川委員) 使い続けるかもしれない可能性があるなら、劣化状況の調査もした方が数字的な根拠や建物の状況を把握できるのではないかと思います。やはり長寿命化なのか、新設なのかという部分に関しては、根拠的なものが必要になってくるので、そういった調査は必要になるのかなというのは今の議論の中で考えたところです。

(西田委員) 今のお話まとめさせていただきますと、当初の方向性では、秦荘のスポーツセンターの方に集約という形はあったけれども、避難所としての機能の関係と

か、現状の利用を考えると、今の愛知川の現地に近いところで、特にここには公民館跡地という使える土地が出てくるということもあって、もう一度ここにも機能の一部を残すということを検討してはどうか。さらに、現状の武道館・体育館をそのまま建て替えるのではなくて、避難所としても使えるような機能を考えながら、高機能化・多機能化を考えて再建をしていく。そのときに秦荘の方の施設については、このまま撤去するにはもったいない、まだ使えるところがありそうにも思いますが、ここは専門家の方に一度見ていただいて、手を入れる必要があるのかどうか、あるいは機能を追加して施設の改善をするとしたらどういうふうな方向があるか、費用はどうなるか、というようなことについても検討していただいたらどうかというご意見だったかと思います。なかなかこれを一つの答えにまとめていくというのは難しいですが、私も現地を拝見している限りでは、愛知川の今の施設はかなり老朽化が進んでいるので、この状態で使っていくこと自体に結構危機感がありまして、あまり時間をかけずに、特に愛知川については方向性を決めて、解体するなら解体する、次の機能をどこに持たせるかということの方向性を決めて対応していく。現状かなり使っておられる施設でもあるので、解体するにしても、北川委員からもお話ありましたけれども、次の再建の場所が用意できるようにしてできるだけ空白期間を短くするということも重要であるかと思います。今、各委員からいただいたお話を念頭に置いて、方向性についてもう一度ご意見をいただいてもよろしいでしょうか。

(陌間委員) 今ほど出た意見を先生がおっしゃっていただいたように、いくつかの可能性があるものを何パターンか考えながらそれをもう少し深めていくとか、いろんなエビデンスも入れながら議論をしていくのが良いのかなということは思っています。おっしゃったように、なかなかすべてをそのまま維持していくことは今後のことを考えると不可能な話だろうというところからいきますと、ある一定集約もしながらバランスも考えて整備をしていく、整備をするにはおっしゃっていただいたように使えるものは使っていきたいというところも入れながらやっていくというのが一番現実的かと思います。

(西川委員) 委員長もおっしゃられた通り、どのような方法があるのかということを専門家の力を借りつつ調査もしていく必要があると思いますし、早急に対応していかなければならないということであれば、やはり一定、早い段階でそういった費用を確保して調査に入っていくということが必要になると考えます。そうでないと、方向性も見いだせない中で時間ばかり経っていくということになるので、やはり早い段階で予算の確保というのは必要なのかなというふうに考えます。

(北川委員) いろんな可能性もということで、将来都市構造図というのを前回お示しいただいていたと思いますが、愛荘町の将来の都市構造の中で、新都市軸というところ、今の湖東三山スマートインターチェンジから東の方から西の方にずっと続く道が計画をされています。先ほど皆様おっしゃっていただいたことと変わるかもしれないのですが、この委員会の大きな目標としては削減をしていかなければいけないという思い切ったところがあるので、湖東みらい線という新都市軸のところに一つ大きなものを建てて、その他は除却等して集約するという、まちづくりの観点から考えていく方法もあると思っています。

(生駒委員) やはり集約の方向で議論を進めなければ意味がありませんが、集約となると必ず課題や支障が出てくるとしています。その整理、例えば施設二つが一つになると、どこで活動する場ができるのかというところを、先ほど陌間委員が学校の体育館も利用できるということを言われたのだと思います。そこが本当にどこまでいけるのか、スペース的にも本当に大丈夫なのかというところも含めて、もう少し突っ込んでいかなければいけないのかなというふうに思っていますし、やり方としては機能が二つあったものが、一つになりますけれども、この規模を1ではなく例えば1.5にするとか、そういったところも踏まえて検討していく必要もあるかと思いました。

また、体育館でも機能の充実した建物ではなくて、コストをカットした体育館、面積は確保しつつもそういった考え方も取り入れていく必要があるのかなというふうには思っています。

(木村委員) その考えもすごく有益だと思って聞かせてもらいました。一方で、先ほど言わせてもらいましたが、プラスアルファ特化した体育館をつくることによって、そのときには投資のお金は少しかさみますけれども、新しく建てたものに、例えば今まではエアコンとかもなかったけれども、受益者負担としてそこを使うためにしっかり使った分のお金を納めてもらうということで維持費のことも視野に入れて考えていくのもありかと思いました。

(西田委員) ほとんど町内の施設が無償なんですね。これもちょっと驚いたんですけど、現状の老朽化した施設でお金を払ってもらうのはなかなか難しいと思うのですが、施設が再建されて高機能化したときには、確かに利用料金の話はぜひご議論の俎上に乗せていただきたい部分ですね。他の自治体の施設を見てもほとんどのところが、綺麗にされたときに利用料金を設定されているので、そういった問題というのも、老朽化しているが故に利用料金を取れないけれども、再建をするのであればぜひというのは記録にも残しておいていただ

たらと思います。

(北川委員) 湖東みらい線の話をしたましたが、ちょうどこの沿線にけんこうプールがあると思います。あそこにも広い土地がありますが、そこも一つ候補であっていいのかなと。ちょうど新都市軸沿線であって、割と広い土地があるというようなところなので発言させていただきました。

(西田委員) 現状の施設をどうするかということと同時に、愛荘町のまちづくり、骨格作りをする中でこういった基幹になる人の集まる施設をどこに持っていくかというふうなことは大変重要な政策課題の一つになろうかと思います。ちょうど新都市軸のところに隣接した用地を求めるとなると、実際には用地買収が必要になったりするようなことになろうかと思うので、期間的に用地買収まで含めて計画を立てていくのが現実的かどうかというふうなところも含めて整理をしていく必要があろうかと思います。

それからプールのところも私拝見したのですが素晴らしい施設で、逆に維持管理の問題でコストが絡むので、このまま公共施設としてずっと維持していくかどうかというご議論もあろうかと思いますが、少なくとも廃止してしまう施設ではないので、こういったところの近くに体育系の施設を集めるというのも、まち作りの方向としてはどうかなと思いますので、今いただいたような意見、立地としては新都市軸の近くに一つそういったものを新設する可能性があるかどうか、そのときのメリットデメリット。それからプールのところですね、これ駐車場も非常に広いですし、スポーツ施設を置いていくことについてはわかりやすいエリアかなと思いますので、そういったところで新設をする案というのを今いただいたかと思います。

それから現状の秦荘スポーツセンター、これをそのまま少し長寿命化あるいは高機能化できるかどうか、これは専門家による診断をしていただかないと、なかなかこの委員会の中では今方向性が出せるものではありませんけれども、ぜひ議会の方にもご理解をいただいて、少し予算化も必要になるかと思いますが、これについても調査をしていただいた上で、この施設の活用について方向性を決めていく。

それから、当初は撤去してしまうということになっていた愛知川の体育館・武道館ですけれども、避難施設としての機能等も考えると、やはりここに何らかの機能を残していくべきではないか。さらに今の公民館の撤去後の用地を使えるということであれば、再建までの期間を短縮できる可能性がありますので、ここで検討するという判断、これだけの案を今日いただいたかと思います。武道館を武道館として再建するか、それから体育館を体育館として再建するか。これは二つ一緒か別かという話もあろうかと思いますが、これも含

めて、もう一度今の各プランについてメリットデメリットを整理して方向づけをしていくことになろうかと思いますが皆様いかがでしょうか。事務局の方には大変なお仕事を依頼することになると思うんですけども、その比較をした上で、これの方向性についてメリットデメリットを整理して議会等での説明資料としていくと、そんな感じかなと思いますがどうでしょうか。

(持田委員) そういった内容でいいと思います。より具体的な数字を示していただければそれで前に進むのかなと思いますが、今はどちらかというとあまり具体的な傷みの程度が全く分からないし、それを直すのにどれだけかかるのか、設備的なものとか、大規模的な改修を行うお金と新築の建物を建てた場合の比較とか、そういうのも本当はどこかのタイミングでやることだと思いますが、今、どこでも材料費等かなり高騰していて新築の案というのはなかなか前に進みにくいので、やはり今、改修していくのにどれだけのお金がかかるのかというところで、そのお金を作るだけでも結構大変だと思うので、非常にかかるのであれば、そのまま現状維持で安全を確保した上でしばらく使用して、それから状況を見て判断するというのもあると思うんですね。なかなか今難しい時期だと思います。

(西田委員) では、次の委員会までにちょっと大きな宿題になってしまいますが、今の体育系の施設を古くなって撤去しないといけないというのはおそらく間違いがない、愛知川の施設をどういう形で再建していくのか、どこに集約化していくのかということについて案の整理をいただきまして、次の会議に臨むということをお願いをしたいと思います。

それから今日は、先行して体育系の施設についての意見をいただくということだったんですけども、ご説明いただいた中にも他の施設、まだかなり課題を抱えておられるものもあろうかと思いますので、そういったものの中で議論が必要なものについてはその次の会議でも構わないと思いますが、整理をいただいて、ここで意見をまとめていくというふうな流れになればというふうに思っています。

(8) その他

(事務局) 事務局としましては、できればこの委員会で今議論させていただいている内容を議会の方にも共有させていただいて、そこで頂戴したご意見をこの会議へ持ち帰っていきたいというような思いを持っています。

■次回開催日 令和7年10月を予定